

2020 年度事業計画

【2020 年度の基本方針】

2020 年度は、公募事業である「日本ジュエリー展」の展覧会を開催する。2019 年度に公募し、審査にて厳選された入選作品を表彰し、展示をする。

育成事業の JJDA 講座は、従来の講師による講演型のセミナーに加え、ジュエリーデザインの普及啓発を図る体験型の講座を各地で開催する。

展示・発信事業では、2021 年度開催予定の会員による展覧会の企画を検討し準備を進めるとともに、本年度も情報発信として SNS 等を使った迅速な発信方法を改善し、また、来場者へのアンケートなどを通して事業内容を充実させ、継続して全国で実施する各事業への参加者の増加、普及を図る。

【I ジュエリーデザインの公募に関する募集、審査、授賞対象の発表、表彰に係る事業 (公益目的事業1)】

1964 年創立当初から概ね隔年で 30 回に亘り開催してきた公募展を発展させ、ジュエリーデザインのより高度な振興を図る。ジュエリーを素材価値だけでなく造形分野として、広く実作品を公募し、審査・表彰することにより日本のジュエリーデザインのレベルアップを図り、国際的な地位確立と次世代の人材育成を目的としている。2020 年度は、2019 年度に行なった「第 31 回公募 2020 日本ジュエリー展」の募集と審査から、選ばれた作品を表彰し、入賞・入選作品の展覧会を通して本事業及びジュエリーデザインの普及啓発を図る。

(1) 審査発表・表彰

2020 年 3 月審査終了後速やかに応募者に審査結果を通知する。

受賞作品については、プレスへの発表ほか、当法人ホームページで発表する。

図録を作成し、展示会場の他広く配布する。

表彰は、以下の各賞毎に発表する。

大賞 1 名／優秀賞 2 名／under26 部門賞 1 名／海外部門賞 1 名／招待審査員賞 3 名／奨励賞若干名／日本ジュエリー協会賞 1 名

※大賞、優秀賞、招待審査員賞、奨励賞、日本ジュエリー協会賞は全入選作品から選出される。

授賞式 2020 年 6 月 17 日 東京都美術館

(2) 展示

・「第31回公募2020日本ジュエリー展」の受賞作品及び入選作品の展示

・会場内でギャラリートーク等の形式で作品解説を行なう。

会期 2020年6月17日～6月21日 会場 東京都美術館

(3) 主催、後援等

・主催 公益社団法人日本ジュエリーデザイナー協会

・後援 経済産業省／文化庁／公益財団法人日本デザイン振興会／一般社団法人日本ジュエリー協会／公益社団法人日本インダストリアルデザイナー協会／公益社団法人日本クラフトデザイン協会／公益社団法人日本インテリアデザイナー協会／公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会／公益社団法人日本サインデザイン協会／一般社団法人日本空間デザイン協会／公益社団法人日本パッケージデザイン協会／一般社団法人総合デザイナー協会／日本経済新聞

【Ⅱ ジュエリーデザインに係る調査研究及び人材育成に関する事業（公益目的事業2）】

ジュエリーは生活に潤いを与え活性化させ、さらに心の拠り所として改めて人々の関心を集めており、生活に果たす役割などを研究する価値は大きい。

一般初心者へは、デザインとものづくりの体験講座を開催しジュエリーへの関心を高める。中級者へは、ジュエリーの歴史、文化に関する専門家による講演会を開催し、知識を深めることにより、最終的にプロへの道を拓くべく人材育成のステップアップを図るとともに、ジュエリーデザイナーとしてのスキルアップを図る。

また、各展覧会会場に於いてアンケート調査を実施し、これからの日本のジュエリーのあり方を探っていく。国際的課題である知的財産権に関しては、ジュエリーデザインの分野での産業財産権及び著作権等に係る諸問題を調査研究し、デザイン価値の重要性を社会に発信していく。

(1) 調査研究

①知的財産権の研究と推進

意匠権、著作権などジュエリーデザインにおける知的財産権に関し、その重要性を啓発する。

- ・「ジュエリー110番」改訂版の2021年度発行に向けて、内容の精査を行なう。
- ・ホームページ上において公開し普及推進する。(継続)
- ・メルマガ等にて継続的に記載し啓発する。

日本デザイン団体協議会(D-8)／デザイン保護研究会への共同参加事業として、「D-8デザイン創作証」運用他、知的財産権の社会への普及を図る。

(2) セミナー・講演会

ジュエリーの文化、発達史、技術などをグローバルに研究する専門家を招いて講演会及び初心者向け体験講座並びに技法の実技講座を行なう。

①JJDA 講座 2020「オリジナルジュエリーを生むテクニック・地金編」

会期 2020年6月20日 会場 東京都美術館 講堂 講師 三木稔氏(JJDA正会員)
募集人数 200名

(3) 実地体験

①JJDA 講座 2020「コンテンポラリージュエリーを創るワークショップ 2020」

会期 2020年6月・8月・11月(全3回) 会場 名古屋市(未定) 講師 浅井美紀氏(JJDA会員)
募集人数 12名

②JJDA 講座 2020「コサージュ作り体験」講習会

会期 2020年6月中旬頃 会場 広島市(未定) 講師 JJDA正会員(西日本地区)
募集人数 30名

③JJDA 講座 2020「テクニカルワークショップ『螺鈿』」

会期 2020年10月(全2回) 会場 名古屋市(未定) 講師 早川守彦氏 募集人数 10名

④JJDA 講座 2020「卒園コサージュ作り体験」講習会

会期 2021年1月16日 会場 本井出みのり保育園(熊本) 講師 JJDA正会員(西日本地区)
募集人数 19名

(4) 講師派遣の実施

自治体、企業、団体、教育機関等及び海外からの要請に対応し、会員を講師として派遣してジュエリーデザインに関する講義や実技指導を行う。

【Ⅲ 国内外の優秀なジュエリーデザインを展示及びジュエリーデザイン情報の発信をすることにより、人々の生活文化の向上に寄与する事業（公益目的事業3）】

国内各都市の展示会場で最新のジュエリーデザインの実作品を展示することにより、人々の生活文化の向上を図ることを目的とする。

日本のジュエリーデザインの世界への発信を、さらに拡大し充実させるため、海外情報の収集と JJDA からの情報発信を推進し、交流を図り、国際相互理解の促進に努める。

機関誌の発行及びホームページによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般に提供し訴求活動を行う。

(1) ジュエリーデザインの展示等による普及・啓発

①2021 年度開催に向けて、JJDA に所属する正会員、名誉会員による展覧会の企画を検討

(2) ジュエリーデザインに関する海外交流及び発信

海外交流事業の拡大を見据え、アジア、欧米の諸機関とのネットワーク形成を推進し連携を図る。

ホームページ等を中心とした協会及び日本のジュエリーデザインに関する情報資料を充実させ、相互リンクの拡大を図るなど、情報の発信の体制を構築する。

①「ドイツのコンテンポラリージュエリーアーティストと現代建築家によるトークセッション」開催に向けての準備年とする。

ドイツのコンテンポラリージュエリーアーティストであるスーザン・ビーチ氏と現代建築家 中村竜治氏によるトークセッションを 2021 年度に開催し、ジュエリーと建築の関係性を考察することを目的とする。

(3) 情報発信

機関誌及びホームページによりジュエリーデザインに関する情報を、広く一般へ提供する。

機関誌では、事業の詳細な報告を、ホームページではタイムリーに公募事業のインフォメーション、各 JJDA 講座等の開催に関する情報を提供、発信する。

①機関誌「JJDA2021 No.55」A4 版 約 32 頁 2021 年 1 月発行

②JJDA ホームページの運営を充実化（継続）<http://www.jjda.or.jp>

③ジャパングジュエリーフェア 2020 における協会広報ブースに出展し、協会事業を公知する

④プレスリリースによるメディアへの働きかけ強化

⑤ジュエリーデザインに関するデータベース構築

【Ⅳ その他事業】

(1) 会員相互の交流事業

会員相互の交流を活発化し、長年在籍する会員から若年層への創作技法の伝承、見学会などを通して情報交換を行う。

①東日本地区 「第 31 回公募 2020 日本ジュエリー展」見学会（東京）

②関東地区 「翡翠原石館・品川水族館」見学会（東京）

③近畿地区 「大阪造幣局」見学会（大阪）

④近畿地区 「伊勢志摩真珠島」見学会（三重）

⑤活動促進 「アートクレイ便利技巧特別実技」講習会（東京）

⑥会員相互の交流の場をつくる。

(2) 会報「FROM JJDA」及び「メルマガ from JJDA」発行 年 12 回 事務局編集・発行

各委員会（部会）、事務局よりの事業準備及び報告情報を会員へ速やかに伝える。

(3) 内外ジュエリーデザインに関する関連団体との連絡及び協調

①日本デザイン団体協議会（D-8）への参加

D-8 運営会議、デザイン保護研究会、及びジャパン デザイン ミュージアム設立研究委員会等への参加

②国内外の諸団体の事業への後援・協賛・協力

【V 管理等】

(1) 会議開催

①総会開催 2020年5月

②理事会開催 2020年4月、7月、10月、2021年1月

③部会長会議・事業部会合同会議・委員会及び部会会議

・全国5地区部会及び事業等の各部会部会長による会議開催。年1回

・各委員会及び各担当による会議開催。計 年約60回

(2) 諸規定の整備

(3) 会員情報管理（継続）

(4) 会員章碑の作成（継続）

(5) 協賛店の整備と拡大

(6) 正会員・賛助会員入会促進の検討

(7) 一般への情報提供サービスの検討

(8) 予算書・決算書作成

(9) 素材表記の検討・精査

(10) アーカイブの整備

(11) 会費納入の徹底

以上